

道路横断標準圖

外苑内の主要道路は平面圖に示してゐる様に帝都の要區としての交通系統及苑地設計による交通計畫を考慮して參與會議評議員會の議決を経て定められ、路線延長二千〇七十間、車道一萬三千〇四十坪、歩道六千四百八十五坪、側溝及界石六千五百九十八間である。

幅員は十八間、十二間、十間の三種であつて、十八間のものは、車道九間、歩道左右各々二間半宛、植樹帶左右各々二間宛であつて銀杏並木高さ五間のものを五間毎に植栽し、その周圍は芝生をめぐらして、十二間及十間の幅員、道路は歩道二間宛車道は六間及八間である。

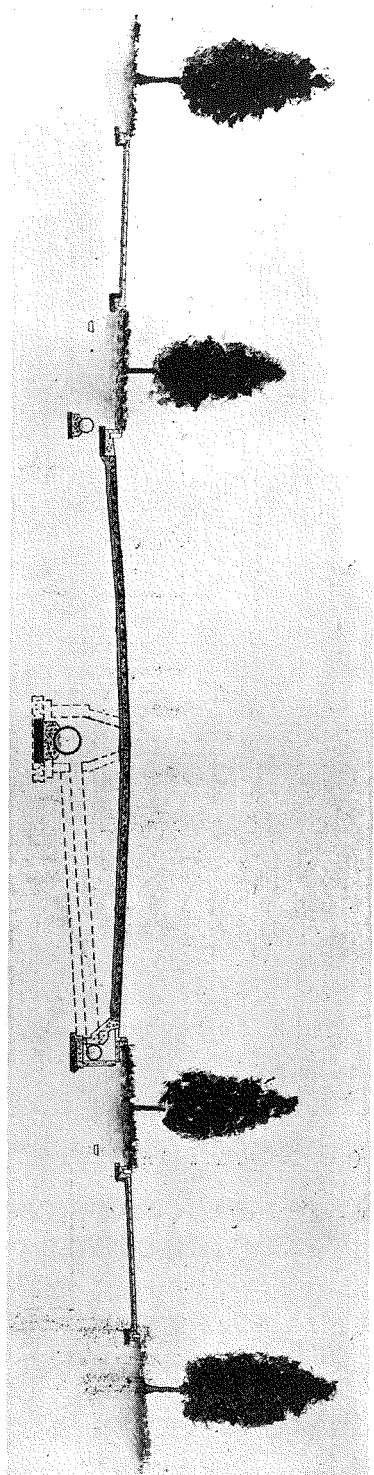
車道路面の鋪裝はアスファルトコンクリートで三寸厚の砂利を加へ、輒壓したるのち基礎層をつくる、基礎層は二種に分れ、ホワイトペースは、厚六吋の一、三、七、セメントコンクリートであつて、ブラックベースは厚四吋のアスファルトコンクリートとする、此ブラックベースは砂利を主要骨材とし、之に填充材料として砂及アスファルトを混合するものである、表面層は二吋厚のアスファルトコンクリートで碎石及二種の砂、石粉及アスファルトを混合せるものである。

そのうち表面の部分に砂、石粉及針入度高きアスファルトを混合せる細混和物を前記アスファルトコンクリート粗混和物の上に四分の一吋の厚さにしきならし、全部を一度に十噸マカダムローラーを以て輒壓するものである。

トワーレナイトビュリシックで路盤工にしむる。歩道路面鋪裝は二寸の砂利を加へて輒壓せらる路盤上にセメントコンクリート厚四吋をしきならし、その上に中砂、細砂、石粉及アスファルトを混合せるものをしきならし、八噸タンデムローラーを以て輒壓し仕上げるものである、工事は日本石油株式會社道路部で、施行中でロードエンヂニヤ、ボーリス及シユーメーカーが日々早朝より現場で工事を施行している。

工事費は車道路面は路盤、基礎層及表面層共一面四當りブラックベースの分十七圓五十五錢、ホワイトベースの分十六圓五十八錢、歩道は九圓〇七錢ある。

之に用ふる主要骨材中砂利は神奈川縣高座郡寒川村明治神宮造營局直營採取場のものに



(7) 明治神宮外苑道路横断面圖
(7) Cross Section Sketch of Road Through Outer Garden of Meiji Shrine.